

八代高校への国際バカロレア（IB）導入に係るコース設置等について

このことについて、別紙のとおり定めることとする。

（提案理由）

県立高等学校あり方検討会提言の取組の一つに掲げられている、グローバルに活躍する人材を育成する学科等の設置検討に当たり、熊本県教育委員会の権限に属する事務の委任に関する規則第2条の規定により、教育委員会において、県立八代高校への国際バカロレアコース設置に向けた準備を開始する必要があるため。

参考：関係法令条項

熊本県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則
（平成20年4月1日施行 教育委員会規則第5号）

第2条（教育長へ委任しない事務）

第2項 教育長は、前項各号に掲げるもののほか、重要又は異例に属する事務については、教育委員会に付議しなければならない。

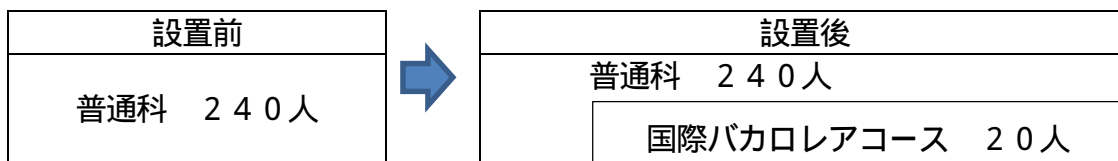
八代高校への国際バカロレア（IB）導入に係るコース設置等について

令和8年（2026年）5月12日
熊本県教育委員会

1 概要

熊本県立八代高等学校の普通科に「国際バカロレアコース（通称：「IBコース」）を設置し、定員は20名とする。

なお、普通科IBコースの開始時期は、高校1年の11月頃とする。



DPの履修期間は2年間と決まっており、それ以上の履修はできない。IB最終試験は年2回、5月（4月下旬から5月中旬）と11月（10月下旬～11月中旬）に実施される。欧米系のインターナショナルスクールは主に5月、日本の一条校は主に11月試験を選択するため、その時期から遡ると高校1年の11月頃の開始となる。

2 コース設置の理由

令和6年度に県立八代中学校へ入学し、ミドル・イヤーズ・プログラム（MYP）を履修した生徒が、令和9年度に高校生となる。MYPを履修した八代中学校から進学する生徒（中進生）の学びをその先へ繋げるために、八代高校にディプロマ・プログラム（DP）を学ぶコースを設置し、受け入れる必要がある。なお、八代中学校以外から進学を希望する生徒（高進生）にも門戸を開き、よりレベルの高い学びの実現に向けて、中進生との間で切磋琢磨する環境を創出する。

3 コースの理念

「国際バカロレア機構」が開発したカリキュラムを導入し、課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力など、グローバル化に対応するための素養、能力を備えた人材を育成する。

4 施行日

令和9年（2027年）4月1日